泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

令和8年(2026年)1月作成

北海道

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

原子炉設置変更許可から知事の同意判断までの主な経緯

時　期（令和7年）	事　　項
7月30日	**原子力規制委員会による原子炉設置変更許可**
8月　1日	**武藤経済産業大臣から鈴木知事へ理解要請（電話）**
8月　4日	**村瀬資源エネルギー庁長官から鈴木知事へ理解要請（経済産業大臣からの文書手交）** **齋藤北海道電力社長から鈴木知事へ原子炉設置変更許可に関し報告**
9月　9日～10月　3日	令和7年第3回北海道議会定例会
9月20日～10月11日	**岩宇4町村及び後志管内（余市町・倶知安町・寿都町）で道主催の説明会開催**
10月31日	北海道電力が再稼働後の電気料金値下げ見通しを公表、齋藤社長から鈴木知事へ報告
11月　3日～11月24日	**道内6圏域で資源エネルギー庁と道の共催による説明会開催**
11月16日～11月17日	道議会 産炭地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員会、総務委員会連合審査会（現地調査-愛媛県）
11月17日～11月28日	岩宇4町村長が同意表明（泊村：11/17、共和町：11/26、神恵内村：11/26、岩内町：11/28）
11月20日～11月21日	道議会 連合審査会（参考人招致及び理事者に対する質疑）
11月26日～12月12日	令和7年第4回北海道議会定例会／一般質問で**「知事の考え」を表明（11/28）**
12月　4日	**岩宇4町村を除く後志管内16市町村のご意見・ご要望のとりまとめ・公表** **鈴木知事が泊発電所を視察及び岩宇4町村長と面談**
12月10日	令和7年第4回北海道議会定例会 予算特別委員会総括質疑で**「知事の同意判断」**

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

新規制基準に基づく原子炉設置変更許可（令和7年7月30日）

◆ 泊発電所3号機は、原子力規制委員会において、平成25年7月から審査開始。174回の審査会合と17回の現地調査等を経て、令和7年7月30日、設置変更許可。

◆ 原子力規制委員会は、常に新たな知見を収集してその規制への反映の必要性を検討し、必要と判断した場合には躊躇なく規制に反映することで、規制の継続的な改善に取り組むこととしている。

◆ 8月4日に北海道電力の斎藤社長が来庁し、鈴木知事に対し、原子力規制委員会から原子炉設置変更許可をいただいた、と報告。
◆ 鈴木知事からは、斎藤社長に対し、常に規制以上の安全レベルの達成に向け、施設整備等のハード面と運営体制等のソフト面の両面における安全対策の推進などについて申し入れ。

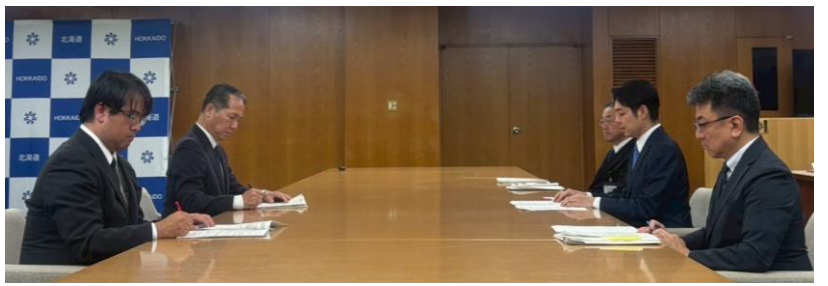
泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

国からの理解要請（令和7年8月1日、4日）

◆ 8月1日、再稼働に向けた理解要請について、武藤経済産業大臣（当時）から鈴木知事に電話があり、政府の方針について説明。

◆ 8月4日、村瀬資源エネルギー庁長官が来庁し、鈴木知事に対し、経済産業大臣からの理解要請文書を手交、政府の方針や地元同意の範囲等について説明。

◆ 鈴木知事からは、原発は何よりも安全性の確保が大前提であり、泊発電所3号機の安全性や必要性についてはエネルギー政策に責任を持つ国が丁寧に説明し、道民の皆様の理解と信頼を得ていくことが重要であるので、しっかりと対応していただきたいことや、安全対策の徹底や原子力防災対策の充実・強化などについて、国としての対応を依頼。



泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

説明会の開催（後志管内 － 令和7年9月20日～10月11日）

◆ 泊発電所より概ね5kmを目安とする「予防的防護措置を準備する区域（PAZ）」及び概ね5～30kmを目安とする「緊急防護措置を準備する区域（UPZ）」を含む後志総合振興局管内での住民説明会を開催。

場　所		開 催 日 時	参加者数	質問・意見等	ご意見用紙
岩宇	泊村	9/20(土) 13:30～16:42	31名	15件	3枚
	岩内町	9/21(日) 15:00～19:48	56名	49件	13枚
	神恵内村	9/23(火) 13:30～16:50	39名	22件	6枚
	共和町	9/28(日) 13:30～18:33	35名	66件	8枚
羊蹄山麓	倶知安町	10/4(土) 13:30～19:00	26名	66件	33枚
北後志	余市町	10/5(日) 13:30～18:05	29名	29件	6枚
南後志	寿都町	10/11(土) 13:30～18:50	15名	49件	3枚
合　計			231名	296件	72枚

※倶知安町の会場ではライブ配信も実施。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

説明会の開催（全道6圏域 － 令和7年11月3日～24日）

◆ 泊発電所3号機の再稼働に関する道民の皆様の関心が高いことから、全道民を対象として、国や北海道電力から、原子力発電のエネルギー政策上の位置づけや必要性、泊発電所の安全対策などについて説明し、ご質問やご意見を伺う説明会を開催。

場　所		開 催 日 時	参加者数	質問・意見等	ご意見用紙
道央	札幌市	11/ 3(月) 14:00～19:00	83名	63件	30枚
道南	函館市	11/ 9(日) 14:00～18:15	28名	51件	6枚
道北	旭川市	11/15(土) 14:00～18:06	38名	41件	8枚
ｵﾎｰﾂｸ	網走市	11/16(日) 14:00～18:10	13名	32件	2枚
釧根	釧路市	11/23(日) 14:00～18:31	30名	41件	9枚
十勝	帯広市	11/24(月) 14:00～18:57	74名	53件	20枚
合　計			266名	281件	75枚

※札幌市の会場ではライブ配信も実施。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

説明会の開催（参加された道民の皆様から寄せられた主な意見等）

【 主な賛成意見 】

- 電気料金が高いので早く発電所を再稼働してほしい。
- 安全・安心を第一に早期再稼働により地域の企業の経営を良くしてほしい。
- 昨今各所で電気が必要な状況なので、安定供給が必要なのは事実だと思う。
- 再稼働により産業活性化や光熱費の削減、製造業誘致につなげてほしい。

【 主な反対意見 】

- 避難計画に実効性がない。
- 原子力は危険で再エネの導入を図るべき。
- 福島第一原子力発電所事故の反省を活かすなら再稼働すべきではない。
- 豊かな自然を持ち、食料供給基地である北海道を知事には守ってほしい。

【 賛否にとどまらない様々な意見・質問 】

- 原子力規制庁に対し、新規制基準適合性審査に係る審査期間や発電所敷地内断層の活動性に関する判断などに関する意見・質問。
- 内閣府に対し、原子力災害時の住民避難に必要な避難道路の確保やバスなど輸送手段の確保などに関する意見・質問
- 資源エネルギー庁に対し、電気料金や最終処分を含む核燃料サイクル、脱炭素電源の必要性などに関する意見・質問
- 北海道電力に対し、新港の建設地や技術力の維持・確保、プルサーマルの実施、公開討論会の開催などに関する意見・質問
- 道に対し、道民投票の実施や避難計画などに関する意見・質問

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

岩宇4町村の同意（同意表明までの経過）

時 期（令和7年）	事　　項
8月　4日	国からの理解要請
10月24日	【泊村】村議会（原子力発電所対策特別委員会）で地元経済団体からの早期再稼働を求める陳情書を採択
10月28日	【共和町・神恵内村】議会（原子力発電所対策特別委員会）で地元経済団体からの早期再稼働を求める陳情書を採択
10月31日	【泊村】臨時村議会で陳情書を採択、再稼働を求める意見書を可決
11月　4日	【共和町】臨時町議会で陳情書を採択、再稼働を求める意見書を可決
11月13日	【岩内町】町議会（原子力発電所問題特別委員会）で地元経済団体からの早期再稼働を求める陳情書を採択
11月14日	【神恵内村】臨時村議会で陳情書を採択、再稼働を求める意見書を可決
11月17日	【泊村】村議会（全体協議会）で村長が再稼働に同意を表明 【岩内町】臨時町議会で陳情書を採択、再稼働を求める意見書を可決
11月26日	【神恵内村】村議会（議員協議会）で村長が再稼働に同意を表明 【共和町】町議会（原子力発電所対策特別委員会）で町長が再稼働に同意を表明
11月28日	【岩内町】臨時町議会で町長が再稼働に同意を表明
12月　4日	知事と岩宇4町村長が面談

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

知事の考え（令和7年11月28日、令和7年第4回北海道議会定例会 一般質問への答弁）

私としては、泊発電所3号機が、福島第一原発事故の教訓を踏まえた新規制基準に適合していると認められたことや国が道とUPZ内13町村の防災計画や避難計画を一体化した泊地域の緊急時対応を取りまとめ、原子力防災会議で了承していること、加えて、再稼働により、電気料金の引き下げが見込まれるとともに、電力需要の増加が想定される中で、安定した電力供給が確実なものとなること、さらには、脱炭素電源の確保により、今後の道内経済の成長や温室効果ガス削減に繋がることなどから、**原発の活用は当面取り得る現実的な選択と考えているところ**であります。

今後、文書によりお伺いしている後志管内の市町村のご意見やご要望も確認するとともに、私自身、泊発電所を訪れ、現地で安全対策について直接、確認し、地元4町村長の皆様からもお話しをお聞きした上で、今定例会でのご議論を踏まえ、最終的に判断してまいります。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

岩宇4町村を除く後志管内16市町村からのご意見・ご要望

【目 的】

道として、再稼働について、道議会や関係自治体、道民の皆様の声を踏まえ判断していくこととしており、道とともに北海道電力と「泊発電所周辺の安全確認等に関する協定」（安全確認協定）を締結している後志管内16市町村からも文書により幅広くご意見やご要望等について伺う。

【対 象】

道とともに北海道電力と安全確認協定を締結している後志管内16市町村

（小樽市、島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村）

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

岩宇4町村を除く後志管内16市町村からのご意見・ご要望

【 寄せられた主なご意見・ご要望 】

- 再稼働に関し、賛成の意見や岩宇4町村の意向を尊重すべきとの意見が複数寄せられたほか、総合的な判断を求める意見や、一部の自治体からは慎重に判断すべきとの意見が寄せられた。
- また、国に対し、安全性や必要性などについて住民に丁寧に説明するよう求める意見や、事業者である北海道電力に対し、安全対策の徹底や電気料金値下げに関する丁寧な説明を求める意見があったほか、道に対し、安全監視や事故発生時の避難等に対する意見などが寄せられた。
- このほか、安全対策や防災対策などに関しても、様々なご意見やご要望などをいただいた。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

知事の泊発電所視察（令和7年12月4日）

◆ 鈴木知事が泊発電所を視察し、防潮堤工事の進捗状況や原子炉格納容器内の重大事故対策のほか、運転シミュレータを活用した訓練などを視察。

◆ 視察後、北海道電力に対し、常に規制以上の安全レベルの達成に向け、施設整備などのハード面と運営体制等のソフト面の両面における安全対策の推進などについて、あらためて申し入れを行った。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

知事と岩宇4町村長との面談（令和7年12月4日）

- 泊発電所の視察後、泊村役場で鈴木知事が岩宇4町村長と面談し、再稼働に同意を表明された考えや、判断の表明に至るまでの、それぞれの町村内でどのような議論があったかなどについて、直接お話しを伺った。
- 4町村長からは、住民の代表である議会のご意見や地元経済団体からの陳情を最大限尊重した上で、それぞれ同意を判断するに至った町村内でのご議論や原子力行政に協力してきた地元の考え・思いなどについてお話しがあった。
- 鈴木知事からは、4町村が、原子力発電所に関し、立地の検討段階から50年にわたりご負担をおかけしていることに対する感謝と敬意、そして、4町村長が再稼働の同意を表明されたことを重く受け止める旨を発言。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

知事の同意判断（令和7年12月10日-第4回北海道議会定例会予算特別委員会総括質疑）

＜ ４定議会（11月28日）でお示しした知事の考え ＞

原発の活用は当面取り得る現実的な選択と考えているところ

道民の声

（説明会等）

４町村長の判断

・

後志16市町村の意見

道議会での議論

こうした様々なご意見を踏まえ

泊発電所３号機再稼働に同意することとした

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

知事の同意判断（令和7年12月10日-第4回北海道議会定例会予算特別委員会総括質疑）

＜ 再稼働同意判断のポイント ＞

- 福島第一原発事故の教訓を踏まえた新規制基準に適合していると認められたこと
- 「泊地域の緊急時対応」が国の原子力防災会議で了承されていること
- 電気料金の引き下げが見込まれること
- 安定した電力供給と脱炭素電源の確保により、今後の道内経済の成長や温室効果ガス削減につながること
- 経済団体から改めて早期再稼働の要望をいただいたこと
- この時点の判断は、企業が投資判断を行う際の予見性を高め、道内での投資促進や雇用の拡大にもつながること

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

国への回答及び要請（令和7年12月18日）

◆ 鈴木知事が赤澤経済産業大臣と面談し、泊発電所3号機の再稼働へ向けた政府からの理解要請に同意する旨を伝えるとともに、原発の安全対策に万全を期すことをはじめ、避難道路などの整備、本道への産業集積の促進、原発立地地域の振興、原子力政策の理解促進など、10項目について要請。

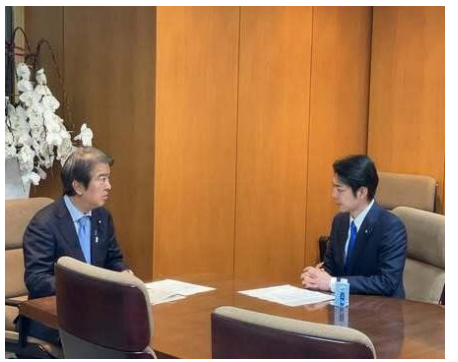
◆ 赤澤大臣からは、同意の表明に対する謝意とあわせて、要請について、地域の実情を踏まえた極めて重要なものと受け止めていること、また、知事をはじめ道民の皆様の声をしっかり受け止めながら、責任を持ってエネルギー政策、原子力政策を進めていくとの回答があった。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

国への回答及び要請（令和7年12月18日）

◆ また、同日、鈴木知事が金子原子力規制庁長官、石原内閣府特命担当大臣（原子力防災）ともそれぞれ面談し、泊発電所3号機の安全対策や泊地域の原子力防災対策について要請。

◆ 金子長官からは、新しい知見に基づき基準を見直していくことや、燃料等の事業所外運搬の安全確保など、要望をしっかり受け止め頑張っていくとの回答があり、石原大臣からは、泊地域の地域防災計画や避難計画の充実に向け、継続的に原子力防災体制の充実・強化に取り組むとの回答があった。



泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

北海道電力への要請（令和7年12月24日）

◆ 鈴木知事が北海道電力の齋藤社長と面談し、事業者として、泊発電所3号機の安全対策に万全を期すことをはじめ、原子力規制委員会の審査に真摯に対応すること、安全対策の確実な実施のための組織体制の保持や充実、電気料金の値下げ見通しの内容や考え方についてわかりやすく丁寧に説明することなど、10項目について要請。

◆ 齋藤社長からは、同意の表明に対する謝意とあわせて、要請については非常に重要なものと受け止め、知事をはじめ、道民の皆様の声を真摯に受け止めながら、泊発電所の運営などしっかりと進めていくとの回答があった。

泊発電所3号機の再稼働に関する北海道の考え

今後の対応

◆ 道としては、原発は安全性の確保が大前提であると考えており、原発の安全の追求に終わりはないと認識。これまで道民の皆様からいただいたご意見や、地元4町村や後志管内16市町村からのご意見、さらには道議会でのご議論などから、発電所の安全対策や防災対策などを中心にご指摘いただいた不安や懸念点については、今回の判断以降も対応を続けていくものであると考えている。引き続き、国や北電に対し、対応に万全を期すよう求めていくとともに、道として防災対策に一層取り組む。

◆ また、再稼働に関する知事の判断や考え方などについても、様々な媒体で、道民の皆様にしっかり発信していく。

※北海道のホームページに「ご意見投稿フォーム」を用意し、引き続き、泊発電所3号機に関する道民の皆様からのご意見をお受けしています。いただいたご意見は、今後のエネルギー政策や原子力防災対策等の業務の参考とさせていただきます。

北海道